

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	事業所、在宅、地域で認知症ケアの確立を目標にと、研修会への参加、当事業所内で勉強会を行い、積極的に研修会へも参加しています。理念は利用者の尊厳、その人らしい生活が送れるような援助の具体的な理念になっています	○	事業所開設 9ヶ月に日々のケアを振り返り、理念の確認、再構築の必要があるかの話し合い、学習会をもっています。これからも定期的に話し合い、確認していきたい
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	日々、実行可能な理念になっているので、理念の実践に向けての姿勢、言動に努めています		継続していく
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	家族へは、入所時、面会時に理念の説明、運営推進委員会で家族、自治体の方に説明し理解してもらえようように、参考資料や事例を発表しています	○	地域への参加ができるように働きかけていく(利用者、家族、職員)
2. 地域との支えあい				
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	車の行き来が多い場所にあり、店舗の建物が多い。近くのスーパーやホームセンターのガーデニングなどには良く外出し、馴染みの関係にはなっている(利用者と花見学や買い物)	○	同じ建物内の住居者、事務所の職員と交流を深める
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	当事業所の行事への参加は、案内状を出し、出席されているが、当事業所職員による、地域参加が少ない	○	地域活動への参加を深めていく

沖縄県(グループホーム マチナトくる)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	自治会公民館へ訪問し、協力したいので行事があれば連絡下さるよう依頼しています	○	これまでは、事業所の基盤作り(人材育成、書類作成など)に精一杯だったので、これからは地域貢献の参加を積極的に働きかけていきたい。(認知症の勉強会のお知らせなど)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価については理解できていると思います。チームワークを図り、勉強会、研修会に参加し、知識の習得、技術の向上がより良いケアに繋がり、評価になっていく事は職員全員が意識し業務についています	○	今回の外部評価を読み合わせ、さらに地域密着型サービスとしての目的、役割の認識を深めていけるように取り組む
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	これまでの運営推進委員会では、当事業所の現況報告(利用者、スタッフの勉強会、研修会への取り組み)が主になっていたため、自治会、家族の意見が反映できるように努めた	○	運営推進委員会の内容を深め、具体的な意見の交換の場がもてるよう、サービス向上に繋げられるように取り組んでいく
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	随時、電話又は直接に相談、報告しています。関わりは多い		これからも、継続して相談、報告していく
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	積極的に研修会も参加しています。学んできた事、参考資料を読み合わせながら、職員全体で共通理解できるように取り組んでいます	○	継続し、理解を深めたい。必要性のある利用者は、活用できるように関わっていく
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記と同様取り組んでいます。 ・コミュニケーションが中心の業務の中で、なれ合い、又は日常用語になってしまっている事「ちょっと待って下さい」「さっきトイレは行かれました」など、利用者に不安になるような言動を振り返り、その都度、スタッフ間で指摘し合い注意するようにしています		これからも、継続していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	職員二人で対応し、表情を見ながら不安感、疑問点を抱かないように配慮し、理解、納得できるように努めています		継続
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	これまでは、意見があればすぐに職員に話し「眠剤は、ちゃんと9時に持ってきて欲しい」など対応しています。	○	他事業所の情報も聞きながら検討していきたい
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、行事、又は必要時、必ず連絡、報告、お願いしたい事は職員間で統一し、もれる事がないように努めています		継続
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設けていますが、投書はなく、直接に意見や疑問点を聞かれる家族が殆どです。内容により、職員間で話し合いを持ち改善したり、上司に報告し解決に向けて取り組んでいます。(ウオシュレットの設置)	○	近いうちにアンケート形式で思いや意見を聞き取り今後のケアに活かせればと思います
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々意見が言いやすい雰囲気です。スタッフからの意見は多く聞かれる。改善点はその日のうちに話し合い解決していますが、ハード面は法人の担当や上司に伺い書を出したり、アドバイスをもらっています		継続
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状態の変化や、状況によりスタッフを多くしたりと安全、ゆとりをもって業務が遂行できるように配慮、調整しています。(年間行事の遠足、敬老会、クリスマス、花見などは同法人の職員の応援をお願いし安全に行う。利用者の状態変化で病院受診など人数が必要な時)		継続
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	一年間の間には数名の方が退職しています 理由:認知症ケアは大変で自分には向かない。本人自身に問題があったり(急に仕事を休む事がそっちゅうあり、その日の業務に支障をきたす)とやむ得ない状況でした。現在はどうか、退職者がなく良い人材ばかりで落ち着いたケアができ、利用者も安心して過ごせているのではと思います	○	固定した職員で馴染みの関係をつくり、安心した生活が送れるようにしたい。採用の場合、人間性を重視し、温かく、笑顔のある人が良い

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人は年間計画で、研究発表、講演、勉強会があり、声かけ、スキルUPに関わる内容は参加しています。又、事業所内では、一年間の中では、優先的項目から計画し、勉強会を行いました	○ これからも継続 事業所内の入職時の学習会、年間計画を見直し、具体的に実行できるように検討していく
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会、勉強会を通しネットワークづくり、情報交換をもっています。事業所内で情報を伝えたり、業務に活かせる事は、どんどん取り入れるようにしています	○ これからも継続していく
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	悩みや気持ちが落ちつかない時は、自ら「話しをしたい」と打ち明けるので、内容により、休養が必要と思われる場合は休みにしたりと勤務調整をし気持ちが楽になるように関わっています。職員にも状況を説明し協力してもらっています	○ これからも継続 職場でのストレスマネジメントの研修会、勉強会があれば、参加したい
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	日々の業務の中で、さりげなく観察したり、他のスタッフから、「あの職員のこういうところいけないと思う」と意見があった場合、本人自身を責めるのではなく、良いところを褒め、チームワークの取り方、他の職員からの誤解を受けないように、自分自身の思いを相手に伝え信頼関係が築けるよう、働く意欲、向上心が持てるように関わっています。時に、法人の上司からの講義、座談会なども設けています	○ 継続していく
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	認知症の障害により、自分の思い、伝えたい事などが出来ない利用者が多いので、寄り添い、状態を観察しながら気持ちをくみ取れるように努めています	○ 側に寄り添いながら、本人の思いを聴く事が出来、安心して生活出来るように継続して、ケアしていきたい
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	親身になって関わっています。退院許可が出たが、退院し自宅に戻ったら介護困難。妻に対する暴力行為、妻がストーマで介護状態になってしまったなど、入所を受け入れ、安心して頂いています	○ 認知症について学習し続け、より利用者の気持ちが理解できるように努めていく

沖縄県(グループホーム マチナトくる)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームでの対応です	○	一人の判断じゃなく、家族や上司に相談しながら決めていく
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者に寄り添い、利用者のペースに合わせ、馴染みの関係ができるよう努め、利用者のペースに合わせた雰囲気づくりで不安感がないように関わっています		継続していく
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と一緒に笑ったり、楽しくお話ししたりとのコミュニケーションが良いケアへ繋がっていくと思うので、利用者を大切に尊敬をもって、学ばしていただいたりと支え合う関係になっています		継続していく
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	事業所と家族の信頼関係のもと、利用者が支援出来ると思います。利用者が常に家族に一員であるように関わっています		継続していく
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	現在の入所中の利用者は、家族関係が良く面会も多く、行事の時は全員の家族が出席されます。その時に、利用者の状態、様子など報告し関わりが継続できるようにと努めています	○	継続していく くる便りで事業所の近況、利用者の様子を載せ、関心もて楽しみになるようにする(今年からはじめています)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出や外泊ができるように支援している(お正月、お盆)面会時、協力を求め、面会簿に名前を記入していただき、利用者と面会に来たことをお話ししながら馴染みの関係がづくように支援している		継続
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	毎日の生活の中で、自己紹介したり、名前呼び合い楽しく笑える時間を大切にしています。入所している中で、チーム、又は家族的な関係が生まれてきています		継続

記入日:平成20年3月26日

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	これまで退所された利用者は、亡くなった方は連絡などしていませんが、他の施設に入所された方は面会に行き馴染みの関係を継続しています	○	便りを出したりと関係性が継続できるようにしたいと思います
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意向を伝える事ができない。わからない利用者が殆どなので、状態状況を観察し、情報を共有し利用者の立場にたったケアができるようにこまめにミーティングをもっています	○	利用者の基本情報や日々の状態、様子の中で希望や思いをくみとれるよう本人中心のケアに努めています
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報をもとに、本人、家族などからの情報で、生活の中に取り入れられないかなど試行錯誤しています	○	個人情報法で、一方的に聞き取るのは注意が必要で、相手側も懸念します。関係性が築け、相手から話してくれるのを待つ事も多いです ・本人に関する事は聴取できるのですが、子供、兄弟、親戚の事など問題ありの場合など
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	心身の変化には職員全員はすぐに気がつきます。睡眠、排便、バイタルチェック表、全体申し送りノートから状態を読み取り、勤務者間で情報を共有、業務の進め方を話し合い、利用者が安全に無理なく過ごせるように、又、著変があれば直ぐに対応出来るようにと努めています		継続
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々生活の中で状態が変わったり、又、新たに家族からこんな事をやって欲しいとの要望がある時は、利用者の気持ちを確認し実行できるようにしています。本人が「いや、やらない」と返答の時は、様子をみながら本人が「してみたい」との気持ちになるまで待つようにしています。職員からの意見も取り入れ計画にいれています	○	ケースカンファレンスは行っているが、記録へきちんと反映できないので、これから出来るように取り組みたい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	随時、話し合いはしています。既存の計画に留意点などを追加しています。	○	利用者の状態変化といっても、それほど大きく変わる状態でないのので、現状維持が多い。記録など良い方法があれば取り入れたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録について勉強会を持ち、介護学校という介護記録の本を職員全員で購入し、毎朝のミーティングなど良い記録について伝達していますが、介護記録の理解の個人差があり、なかなか介護計画がいかされているような記録にはなっていません	○	これからも引き続き、介護計画と日々の記録が連動して記録でき共通理解、統一ケアが出来るように勉強会を重ねていきたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームなのでその中の対応です		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ホーム周辺に、浮浪者がきて、利用者の半窓を叩いたり、玄関のチャイムを鳴らしたりする事がありました。最寄りの交番の警察官に連絡し警邏して頂いています		継続
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホームです		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	グループホームです		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	そのように行っています		

沖縄県(グループホーム マチナトくる)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		継続
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		継続
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		継続
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	夜勤一人体制なので、どこまでの重度化、終末期のケアができるのか話し合いが必要
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	ご家族の許可を得て、報告もしています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	当事業所の理念には、利用者を尊重し、利用者のペースに合わせた声かけ、対応を掲げ、常に意識しながら業務を遂行しています。記録は、家族がどんな様子だったと読まれる方もいます。情報開示の時代なので、気持ちよく提供し様子がわかるように説明しながら対応するように指導しています	○ 居室の名前の表示は、利用者の不安を軽減する事もあり、説明し同意を得ています。面会簿も入所者全員のものですが同意を得ています。身内の誰々さんが来ていたんだねーとか会話が弾んだり良い雰囲気です
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	大切に、心がけている事です	これから、継続して支援して行きたいと思います
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせ、希望にそって日課を合わせていますが、寝たきりの利用者で意思表示ができない方は、清潔、安全、ゆとりを持ち週間スケジュールで動くようにしています	○ 継続して、利用者本位、利用者のペースを大切に支援していく
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容室、美容室に行きたいと希望される方は、家族又は職員の付き添いで行きますが、外出困難(認知症状が強くじっとできない、又は車椅子で数時間座るのがつらい利用者)は、散髪上手なスタッフがを行い、散髪後は直ぐに入浴し気持ちよく過ごせるように配慮しています	継続
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	心がけています。一緒に準備、食事片付けができる(心身の状態)利用者が少ないです(ホットプレートでホットケーキやヒラヤチーを焼いたりしています)	○ 利用者のできる事は、無理のないように声かけ持続してできるようにと話し合っ実行しています
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲酒、喫煙される方はいませんが、「魚が苦手な食べれない」との利用者がいます。その利用者は魚料理の時は、別メニューで提供しています	継続

沖縄県(グループホーム マチナトくる)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンを把握し、声かけたり、行動を観察しながらトイレできるように配慮し利用者が安心できるようにケアしています(排泄チェック表で排泄パターンを把握する)		継続
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	意思表示のできない利用者は決めています。意思表示できる利用者は、希望に沿って行っています。汚れた時は、気持ちよく過ごせるように清潔保持を心がけています		継続
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼間でも、うとうと傾眠の様子の際は本人に確認し午睡、休息にしたり、夜間も本人希望でお話したり、お茶にしたり様子をみながら入眠できるまで側に見守り、コミュニケーションを図っています		継続
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	なかなか難しい事です。行事の時は必ず、乾杯の音頭や終わりの挨拶をお願いすれば、立った瞬間、言葉がすーと出て感激したりします。利用者から、沖縄の方言を教わったり、昔の話も良く聞いて楽しんでいます	○	楽しみのある事が多く出来るように、事業所で話し合いをもっていきたいと思います
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人の利用者は、財布からお金を取り出し、他の利用者に配ったり状況があり、それからは家族に預かって頂いています	○	ケースbyケースで対応していきたい
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気が良く、暖かい日は日向ぼっこ、近くまでの買い物、ミスタードーナツでのおやつタイム、ホームセンターのガーデニングの花見など良く行きます。利用者は嬉しそうにされています。		継続
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	寝たきりの利用者で、自宅に階段があるため外出がなかなかできない状況だったので計画し、職員2名、家族が4人自宅で待機する事で外出しています。利用者は、仏壇にお線香を立てるように訴え、手を合わせ喜んでいました。年間計画に花見、遠足で外出しています	○	個別的に、無理なく出かけられるように努めていきたい。今後、ご家族と一緒に遠足など検討していきたい

記入日:平成20年3月26日

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	認知症の記憶障害で電話した事、面会に来られた事を直ぐに忘れてしまう利用者もいますが、利用者が用事があるので電話したいと言われる時は、対応しています。こちらかの電話より、家族さんから電話がかかって来る場合が多い		継続
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に来訪できるよう、快く対応しています。来訪者に同意を得て、名前を記入して頂いています		継続
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	権利擁護の研修会に参加し、事業所内で話し合い、センサーマット使用などで、身体拘束しないように業務を遂行しています	○	個別的にリスクは様々です。他の事業所はどのような安全な対応がなされているか、情報を取りながら検討していきたい
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	センサーマットの使用で対応していますが、職員がフロアを離れたちよつとの数秒の間に玄関の外側に車椅子でいたり、リスクが高いです。これからいろいろ検討していかなければと思います	○	もっと良い方法があれば取り入れたい
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間では、頻回に巡視で転倒予防、状態変化に対応できるように努めています。昼間は、相勤者と声かけ、相談しながら必ず一人はフロアにいて利用者の見守りをしています。帰宅願望の利用者がいるので十分な注意が必要です	○	他の事業所の対応など、情報をとりいれながら良い対応方法があれば取り入れたい
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	職員間、家族、必要であれば認知症専門医の指示を得てリスク管理ができるように取り組んでいます（洗面所に大きな鏡がありましたが鏡に映る自分を妹と言い妄想的行動が続き、他の利用者、面会者から、良くない印象で専門医に相談し鏡全体を板でおおい様子をみています）	○	これからも継続して個別的に対応
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人一人利用者の状態を把握し、移動、移乗の際は必ず側につき見守り、介助を行っています。食事時間は、看護師が常にいるようにしています。日頃より、吸引器、掃除機の使用は慣れています。火災訓練は、年2回行い危機感を持ち意識しながら業務を遂行するように指導しています。人数確認、火元確認は日誌に記入。薬は食後本人の手渡ししたり、口の中に入れて飲む所まで職員が確認	○	ヒヤリハットの重要性、何か危険、問題と思われる事項は職員全員で話し合い、介護記録や全体申し送り簿に記録し共有し事故防止に努めています。昼間より、職員が一人の夜間が心配のようです。これからも継続して、勉強会や防災訓練を行っていききたいと思います

沖縄県(グループホーム マチナトくる)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>マニュアルを作成して、勉強会を持ち、実際に起こった時には追加したり確認し合っています。直ぐに管理者、看護師に連絡し判断をもらったりしています。連絡するまでの処置、対応も確認し記録に残しています</p>	<p>○</p> <p>高齢者でいくつかの疾患を抱えており、常にいつ何が起きるかを予測し、対応できるように指導、話し合いをしています。これからも継続して、随時、定期的に勉強会を重ねていきたい</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練は、年2回行うように計画立て実行しています。地域の協力は依頼しています。デモンストレーションを通してイメージは出来ると思いますが、よりスムーズに動けるように訓練、話し合いが必要だと思います</p>	<p>○</p> <p>機会がある事に、地域の皆様には声かけ、協力依頼したいと思います。職員には定期的に話し合い、デモンストレーション等により</p>
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>入所時は家族の情報、利用者の状態をアセスメントし、リスクについての説明(ケアに十分注意しても起こりうるリスク)を行います。入所されてからは、日々の状態、様子を観察し、情報を共有し、利用者のできる事を奪わないように、構い過ぎないように側で見守り、声かけてケアしています</p>	<p>○</p> <p>記録、文章化する事がまだまだできてないので、介護記録について、勉強会を持ち取り組んでいきたい</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>35項目と同様、心身の変化や異変には直ぐに気がつき、他のスタッフ、上司への報告がなされます。管理者、看護師の判断で病院受診したり、主治医に連絡し指示をもらっています。緊急状況により、いち早く救急要請し搬送の対応になる事もあります</p>	<p>○</p> <p>普段から利用者の状態把握に努め、著変時は直ぐに報告し、早めの対応がとれるよう、適切な処置が施されるように話し合いをもってゆとりのある業務ができるように取り組む</p>
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服用している薬は、いつでも職員が見ることができるよう、ファイルしています。新しい薬で追加する薬は、ミーティングや随時、職員に見せながら、注意する事を説明します。「職員から、あの薬が入ってないよ」と気がつく程、認識されています。副作用についても、情報共有します</p>	<p>継続</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>個別的に、排便がスムーズにあるように、主治医と相談しながら、水分摂取、運動、食べ物(利用者がお芋食べたら出ると話す)などに気をつけています。3日目に、緩下剤を投与しそれでもない場合は、医師の指示の浣腸を施行し、緩下剤の調整をします</p>	<p>継続</p>
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアは、見守り、介助で確認します。感染防止の為、朝食後、夕食後は、全員の歯ブラシ、コップ、ペーソンなどは、除菌漂白効果のある、キッチンハイターで30分以上浸し、食器洗剤で洗い流して使用しています</p>	<p>これからも継続</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量のチェック、水分摂取量の把握で状態により、ホカリスエット、エンシュア(補助飲料)などをトロミにしたりして一日の量が足りるように努めています。検査データを把握、看護師から説明を受け、血糖値の正常で甘いのが好きな方は、摂取量が少ない時は努めて提供しスムーズに摂取して頂いています</p>	<p>継続</p>
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>もともと疥癬症をもっている方が入所され発症した時、皮膚科受診、疥癬マニュアルの勉強会、理解、法人の感染委員会の参加でDrからのアドバイスをもらいながら処置、対応し感染する事なく良くなったケースがあります。感染予防で現在も続けている事は、衣類、シーツなどすべて、70度以上の熱湯に30分以上浸しそれから洗濯しています。効果があります。マットレスは、定期的に熱湯消毒、手すり、手で触る所はアルコールを浸し拭いています。手洗い励行、歯磨き、うがい励行など定着しています</p>	<p>○</p> <p>継続。感染症委員会、研修などに参加しより効果的な内容は、検討し業務に入れていく(2月の研修会で固形石けんには細菌がたくさんいて、液体の石けんが良いと指導受けたので直ぐに固形石けんはなくなりました)</p>
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>担当者がいて、衛生管理に努めています。毎日の掃除、煮沸消毒、キッチンハイターによる消毒、点検を行っています。</p>	<p>○</p> <p>これから、チェック表など作成し、定期的な話し合いも持ち改善する事があれば、取り組んでいきたい</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>			
<p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>穏やかな、笑顔の表情から家族、利用者は安心して出入りはしていると思います。近隣の出入りは、「電話をかけて下さい」「いらぬ服がありますが、いらぬか」など声はありましたが、親しみやすいかどうかは確認していません</p>	<p>○</p> <p>これからも安心して、出入りしやすいように努めていきます</p>
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>心がけています。例えば、壁絵は、季節を感じたりできる物に変えたり、花を生けたり、音楽、舞踊のビデオなどで楽しんだりします</p>	<p>○</p> <p>いろいろアイデアを出し合いながら、居心地良い場所になるように工夫していきたい ・他事業所を見学したり、日常の中で「いいな」と思う事を出し合う</p>
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者の殆どが自分のペースで過ごされています。気の合った同士お話も良くされています。中には、誰か側にいた方が安心して利用する利用者もいます。スタッフが手を引いて共に行動する事が多い</p>	<p>○</p> <p>これからも、一人一人の状態、思いを把握し気兼ねなく利用者ペースで過ごせるように関わっていきたい</p>

沖縄県(グループホーム マチナトくる)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者の使い慣れたもの、思い出などの品々を持ってきて下さるようお願いしています。中には、壊したり、散乱する利用者もいらっしゃるなので個別的に対応しています	○	個別的に対応していきたい
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は十分出来ています。朝、掃除の時、排泄時等、各居室に温度計を置き、暑さ、寒さの調整を行っています。(室温や掛け物の調整、炭を置いたり、臭い消し等の使用)		これからも継続していく
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	工夫されていますが、まだ改善や補修が必要な箇所があります	○	ハード面で、補修が必要な箇所があるので今年中にできるように決まっています。男子トイレの壁の手すり設置等
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者のわかる事、話、歌、出身地などを思い出して頂きながら、本人らしく暮らせるように工夫、関わっています	○	家族や親戚の情報を収集し、本人らしい関わりがもてるように取り組んでいきたい
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	少しずつ家庭的な雰囲気づくりをして、散歩したり、日向ぼっこしたり日課に取り入れています	○	5階建てマンションの1階にあり、外見はグループホームとしての印象が良くないので、玄関、入口、ホーム内を過ごしやすい生活の場を目指し頑張っていきたい

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

沖縄県(グループホーム マチナトくる)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input checked="" type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・職員全員が認知症について知識を深め、理解し、より良いケアの実践につなげるため、事業所内での勉強会、外部の研修会へ積極的に参加し、個別的な対応、統一したケアが行え、利用者が安心して過ごせるように取り組んでいます。
- ・年間行事は(敬老会、クリスマス会、誕生日会)、おどり、思い文、挨拶などを利用者にお願ひし、利用者が楽しみながら、積極的に参加できるように工夫しています。楽しく、明るく、笑顔いっぱいです。
- ・母体が病院なので、利用者、御家族共に、安心してすぐに受診できるのが、一番良いとの事です。職員も安心です。